全体	28
個別	07-01

平成３０年度［農　林　水　産　部］ 組織目標

課　名	農林・しいたけ課

No.	総合計画の区分	挑　戦	なりわいづくり
		最優先課題	良質な対馬産品をつくる・対馬産品に高付加価値をつける
	項　目	對馬椎茸”やる倍”ナバダス計画総合対策支援事業	
	内　容	「對馬椎茸”やる倍”ナバダス計画」に基づき、計画的にしいたけ振興策を図ります。 ①生産者のやる気を倍増 　価格の安定化(生しいたけ安定価格買取) ②生産量を倍増 　作業の効率化(生産団地・省力化機械器具導入、種駒補助制度) ③系統外出荷量を倍増 　分業化・安定供給(量、品質、納期)に向けたルールづくり	
	指　標 (数値目標)	○しいたけ生産推進　種駒補助　1,100万個 ○対馬しいたけ販路拡大流通体制構築支援　物産展等40回 ○生産量　乾１２０トン　生２００トン	
	達成時期	平成３１年３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
対馬しいたけ販路拡大流通体制構築事業	←	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	→
しいたけ生産推進事業(種駒補助)	←	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	→

全体	29
個別	07-02

平成３０年度［農　林　水　産　部］ 組織目標

課　名	農林・しいたけ課

No.	総合計画の区分	挑　戦	なりわいづくり
		最優先課題	自然の保全と持続可能な利用

	項　目	対馬猪鹿活用促進事業
	内　容	○ イノシシ・シカの被害がある地区に出向き、防護柵の位置情報、捕獲情報等の有害鳥獣対策の現状を、地域住民にフィードバックします。対策の主体は地域であり、行政は対策をサポートするため蓄積された情報を根拠に効果的な体制づくりを共に検討します。 ○ 被害対策を推進するための防護柵の整備については、新規柵の整備、居住区域内安全対策、家庭菜園防護柵等補助を行っており、学習会開催時に被害対策についての正確な情報提供に行います。 ○ 有害鳥獣の資源活用として食肉加工品や皮革製品等に取り組み、食べて美味しい、使って楽しい等、市民が有害鳥獣対策に関わるきっかけをポジティブなイメージにするため、普及啓発活動を実施します。特に学校給食での食育としての利用や担い手育成、市内飲食店等での活用を促進します。
	指　標 （数値目標）	①地域主導の被害対策推進地区増加数：5地区 ②地区捕獲隊増加数：5地区 ③「イノシシ・シカに関する地区学習会」開催：10ヵ所 ④有害鳥獣利活用及び人材・担い手（対馬の子ども達）育成 学校給食食材利用校：全校 総合的学習「有害鳥獣対策」開催：２校 ⑤各種防護対策の実施
	達成時期	平成３１年３月

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
地域主導の被害対策推進活動	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
地区捕獲隊普及活動	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
イノシシ・シカに関する地区学習会	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
有害鳥獣利活用及び人材育成	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
各種防護対策の実施	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	30
個別	07-03

平成３０年度［農　林　水　産　部］ 組織目標

課　名	農林・しいたけ課

No.	総合計画の区分	挑　戦	なりわいづくり
		最優先課題	良質な対馬産品をつくる
	項　目	学校給食地場農林水産物導入事業	
	内　容	学校給食での地場農林水産物利用に係る食材供給について、特産・推奨品である椎茸・あか牛・野菜・猪鹿肉とその加工品及び水産物購入への支援を行います。	
	指　標 （数値目標）	【達成年度】 平成３１年度 学校給食に地場産品を使用する割合：重量比 ・米　年40回 ・しいたけ　100% ・野菜 ※　30%　※野菜は、しいたけ・果物を除くすべての野菜 うち、アスパラガス　60% たまねぎ　40% じゃがいも　40% ・海藻類　年30回以上 ・魚介類　年35回以上 【今年度】 安定供給体制を整備します。 地場産のたまねぎ、じゃがいもの学校給食での使用量を目標値まで増やします。 29年度（使用割合）　30年度 ・たまねぎ　4816.8kg（30.5%）→　5000kg ・じゃがいも　2367.6kg（29.7%）→　3000kg	
	達成時期	平成３１年３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
協力農家募集	↔	↔										
意見交換会		●					●					
給食への導入	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

全体	31
個別	07-04

平成３０年度［農　林　水　産　部］ 組織目標

課　名	農林・しいたけ課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ひとづくり・なりわいづくり
		最優先課題	外から若者を招き入れる・良質な対馬産品をつくる
	項　目	対馬の農林水産業担い手・『林業女子』育成及び『人財』発掘事業	
	内容	市の基幹産業である漁業、林業等において、生産者の高齢化及び後継者不足により新規の担い手確保が急務です。農林産業分野の事業者、漁協等の団体、市が一体となって新規就業のための移住相談会への参加及び合同面談会を開催し、就業希望者と事業者側のマッチングの機会及び新規参入者向けの説明会などを実施します。 〇事業検討部会及び採用者向け研修会開催 〇農林水産業職業紹介映像制作 〇移住相談会及び合同企業面談会におけるポスター、チラシ作成 〇都市部及び対馬市内における移住相談会出席及び合同企業面談会開催 〇林業新規正規雇用従事者の人件費及び研修費等の一部助成	
	指　標（数値目標）	【達成年度】 〇新規林業従事者１５名 〇新規業業従事者　９名 計２４名 【今年度】 〇新規林業従事者５名 〇新規漁業従事者３名 計８名	
	達成時期	平成３１年３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
事業検討会及び採用者向け研修会の開催	↔		↔						↔			↔
農林水産業職業紹介映像制作		↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔				
農林水産業新規就農者向けパンフレットの作成		↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔				
移住相談会参加及び合同企業面談会開催	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	32
個別	07-05

平成３０年度［農　林　水　産　部］ 組織目標

課　名	水　　産　　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	なりわいづくり
		最優先課題	対馬産品に高付加価値をつける
	項　　目	農林水産振興施設建設事業	
	内　　容	島内の優れた地域資源を活かして、島外への販路拡大や市内流通などによる、対馬産品の需要拡大によって雇用を創出し、生産者の所得向上を図ります。このため基盤となる施設整備を行います。	
	指　　標 （数値目標）	【達成年度】 平成３１年度 【今 年 度】 ・施設建設３，０００㎡ ・備品購入１５点（急速冷凍機他）	
	達成時期	平成３１年７月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
測量及び試験費	↔											
本工事					↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
備品購入						↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	33
個別	07-06

平成３０年度［農　林　水　産　部］ 組織目標

課　名	水　　産　　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	なりわいづくり
		最優先課題	対馬産品に高付加価値をつける
	項　　目	島内での供給システムの構築	
	内　　容	生産者と販売業者の双方が、新鮮で豊かな食材を地元に気軽に提供するため、一体化した島内供給システムを構築することにより、観光も含んだ島内消費額の拡大を図ります。	
	指　　標 （数値目標）	（１）地域商社を核とした具体的手法の検討 （２）流通実証試験の実施	
	達成時期	平成３１年３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
（１）手法検討	↔	↔	↔	↔								
（２）試験実施					↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

全体	34
個別	07-07

平成３０年度［農　林　水　産　部］ 組織目標

課　名	水　　産　　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ひとづくり
		最優先課題	外から若者を招き入れる
	項　　目	新規漁業研修生への支援	
	内　　容	漁業者の減少・高齢化、若年層の島外流出などにより、島の基幹産業である水産業は徐々に生産量が減少するとともに、後継者不足が深刻化しています。 漁業後継者を確保することは地域に元気と活力を与えるうえで必要不可欠であり、将来に渡り継続して島が栄えるために最も重要な課題です。 このため地域漁業者、行政、漁協が一体となって新規漁業者の育成・確保に向けた支援を行い、島内外から新たな漁業者の定住を促進することで、水産業の活性化を図ります。	
	指　　標 （数値目標）	【達成年度】 （平成３１年度） 漁業研修生の確保　５ヵ年累計　２０名 【今年度】 新規漁業研修生の確保　４名	
	達成時期	平成３２年３月	

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
漁業研修生の募集	↔	↔		↔	↔							
面接試験			●			●						
新規漁業研修生への支援					↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔

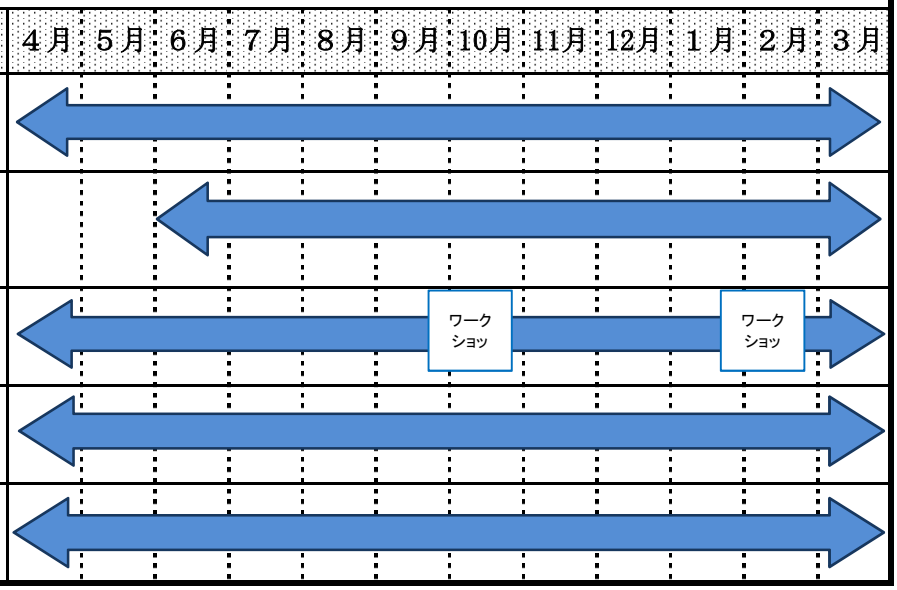
全体	35
個別	07-08

平成３０年度［農　林　水　産　部］ 組織目標

課　名	水　　産　　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ふるさとづくり
		最優先課題	自然の保全と持続可能な利用
	項　　目	海洋保護区の設定	
	内　　容	水産資源の持続的利用と伝統的な漁業の継承を図るために「海洋保護区」の設定を目指します。設定推進協議会は、科学的根拠に基づく科学委員会の答申や漁業者、関係団体等からの意見を検討して、区域設定や区域内の資源管理計画を策定し、国や県などに働きかけて対馬らしい海洋保護区の設定を目指します。	
	指　　標 （数値目標）	【今年度】 ① 対馬版海洋保護区の設定に向け、対馬海洋保護区「しまうみ」管理計画等の策定・実行に取り組みます。 ② 藻場の保全、再生の取組の一環として、食害生物の有効活用や対馬沿岸に適した海藻等について調査研究を行います。 ③ 九州大学等外部研究機関との連携を深めます。 ④ 対馬の豊かな海の魅力及び重要性について、広く市内外にPRします。 ⑤ 資源管理活動のデータ化を行います。	
	達成時期	海洋保護区設定については可能な限り早期の設定を目指します。	

スケジュール



全体	36
個別	07-09

平成３０年度［農　林　水　産　部］ 組織目標

課　名	基　盤　整　備　課

No.	総合計画の区分	挑　戦	ふるさとづくり
		最優先課題	安全安心のインフラ整備

項　　目	基盤整備工事の早期発注、早期完成
内　　容	農林道整備、漁港漁場整備等の公共工事は、第一次産業の基盤整備として、農林水産業従事者の所得向上を目指すものであります。 その中で事業の早期着工は、市の経済流通の初動を促し、市民生活を活性化させると共に、早期完成は市民の生活基盤の底上げにつながるものであり、本年度においても計画的な発注を行い年内に委託業務完了100%及び工事の執行100%を目指します。
指　　標 （数値目標）	平成30年度建設工事発注予定額　　1,038百万円 平成30年度建設工事発注予定件数　　委託 4件 工事 14件 平成30年12月　委託業務完了予定額　　100％目標（35百万円） 平成30年12月　委託業務完了予定件数　　委託　4件 平成30年12月　工事執行予定額　　100％目標（1,003百万円） 平成30年12月　工事執行予定件数　　工事　14件
達成時期	平成３０年１２月

スケジュール

取り組み	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月	３月
測量・調査・設計委託の設計書作成												
工事の設計書作成												
測量・調査・設計委託の管理及び完成												
工事の施工管理及び完成												